

あいち産業科学技術総合センター 2019年1月号 食品工業技術センターニュース

- 今月の内容 ● トピックス
● 技術解説「MALDI-TOF MSによる微生物の同定と課題」

トピックス

●平成31年度「あいち中小企業応援ファンド助成事業」新事業展開応援助成金の募集が始まります。

1 助成対象者

県内に本社若しくは主たる事務所を有する中小企業者（個人、会社及び団体）又は中小企業者が複数で構成するグループ、及び一般社団法人、一般財団法人、小規模企業者

2 対象分野・事業

(1)地場産業枠

県内の地域産業資源を活用した新事業展開のために行う以下の事業

ただし、主要地場産業（繊維・窯業・食品・家具・伝統的工芸品）に関する産業分野

- ・新製品（商品）開発、・販路拡大
- ・人材育成（新製品（商品）開発、販路拡大につながるもの）

(2)農商工連携枠

地域資源の農林水産物を活用して、あいち産業科学技術総合センターや愛知県農業総合試験場等と連携して行う以下の事業

- ・新製品（商品）開発 ・販路拡大
- ・人材育成（新製品（商品）開発、販路拡大につながるもの）

3 助成限度額等

(1)地域産業枠

- | | |
|-------------------------------|------------------------------------|
| ア 中小企業者等 | 助成率：2分の1以内
助成限度額：個別の中小企業者 300万円 |
| イ 小規模企業者 | 助成率：3分の2以内
助成限度額：100万円 |
| ウ 中小企業者団体
一般社団法人
一般財団法人 | 助成率：2分の1以内
助成限度額：600万円
〃 |

(2)農商工連携枠

- | | |
|-------------------------------|--------------------------------|
| ア 中小企業者等 | 助成率：2分の1以内
助成限度額：300万円 |
| イ 中小企業者団体
一般社団法人
一般財団法人 | 助成率：2分の1以内
助成限度額：600万円
〃 |

- 4 助成（採択）規模 5,000万円程度
5 助成期間 助成金交付決定日から1年以内

- 6 公募期間： 平成31年1月16日（水）～平成31年2月15日（金）

平成31年度「あいち中小企業応援ファンド新事業展開応援助成金」について

地域産業枠、農商工連携枠の募集は今回1回限りです。一般枠は7月ごろ募集の予定です。

問合せ先： (公財) あいち産業振興機構新事業支援部 地域資源活用・知的財産グループ
 TEL:052-715-3074 FAX:052-563-1438
 URL: <http://www.aibsc.jp>

●アグリビジネス創出フェア in 東海に出展します。

1月29日(火)から1月30日(水)まで名古屋市中村区の「ウインクあいち」において、展示会「アグリビジネス創出フェア in 東海」が開催されます。この展示会において当センターの技術開発成果を紹介する予定です。皆様のご来場をお待ちしております。

催事詳細については、主催者(NPO 東海生研)のホームページをご覧ください。
<http://www.biotech-tokai.jp/archives/2339>

MALDI-TOF MS による微生物の同定と課題

1. はじめに

質量分析法とは、物質を原子・分子レベルの微細なイオンにし、その質量数と数を測定することにより、物質の同定や定量を行う方法です。イオン化方法の一つに、「マトリックス支援レーザー脱離イオン化法」(MALDI)があります。MALDI法は、マトリックスを混合した試料をレーザー光によりイオン化する方法です。タンパク質やペプチドを始めとする生体高分子をほとんど分解せずにイオン化できます。MALDI法と質量分析計の一種である飛行時間形質量分析計(TOF-MS)を組み合わせたMALDI-TOF MSは、高質量領域まで測定可能であり、タンパク質やペプチドの分子量の測定など生体高分子の分野で普及しています。

2. 微生物同定への利用と課題

MALDI-TOF MSの利用法の一つとして、微生物同定があります。微生物の菌体を直接試料として測定することが可能であり、微生物由来のタンパク質のスペクトルが得られます(図1)。微生物由来のタンパク質は細胞内小器官の一つであるリボソームを構成するリボソームタンパク質が中心であり、大腸菌(原核生物)の場合は50種類以上あります。このスペクトルパターンが微生物の種に特異的であることを利用して種の同定を行います。DNAによる微生物同定は主にリボソームを構成するrRNAのDNA配列から同定を行います。どちらの手法においても、種が明らかな微生物のデータとの照合により種を推定します。

MALDI-TOF MSによる微生物同定は、

DNA配列による同定に比べて多検体を迅速

測定できますが、データベースが不十分である点が課題です。

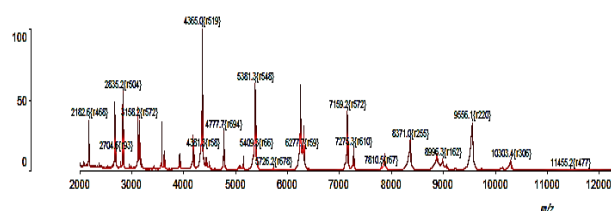


図1 大腸菌のMALDI-TOF MSスペクトル

データベースの拡充は順次行われているため、将来的にはあらゆる分野の微生物同定に利用できると期待されています。

なお、スペクトルパターンに対するクラスター解析の結果から、分離した微生物群が同一種であるかを推測することが可能です(図2)。

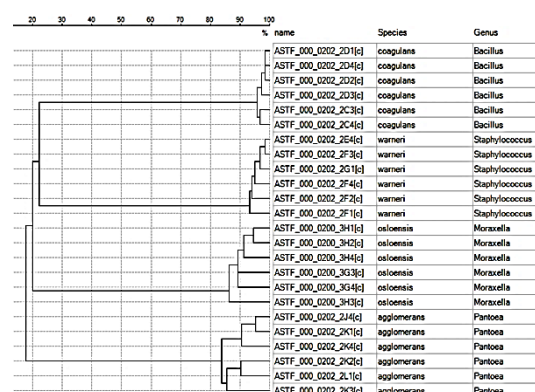


図2 クラスタ解析の例

3. 食品衛生管理への微生物同定の活用

平成30年6月13日に食品衛生法の改正

が公布され、原則としてすべての事業者が、「HACCP に基づく衛生管理」或いは「HACCP の考え方を取り入れた衛生管理」を行うことが求められます。菓子製造のうち、特に和生菓子や洋生菓子製造は加熱による殺菌が行えない原材料を使用し、さらに加熱工程後も手作業による加工工程が多いため、原材料や作業環境の適切な管理が必要です。

当センターでは、MALDI-TOF MS 微生物同定システムを用いて、食品工場や保存後の製品から検出される細菌のスペクトルデータを多数登録し、細菌の種や分布を調査しています。現在、比較的小規模の事業所

について調査・研究を行っており、研究成果を菓子業界に対する情報提供へと繋げることを目指しています。

4. おわりに

当センターでは、様々な食品の変敗に関する技術相談に応じています。また依頼試験により、微生物菌数の測定その他、DNA 配列による同定試験や MALDI-TOF MS による同定試験に対応していますので、お気軽にお問合せ下さい。

(産科技センターニュース 2018 年 11 月号より転載)

食品工業技術センター 分析加工技術室 日渡美世 (052-325-8093)

研究テーマ：MALDI-TOF MS の食品衛生管理への活用

担当分野：菓子製造、微生物

編集・発行

あいち産業科学技術総合センター食品工業技術センター 平成31年1月17日発行

住所 〒451-0083 名古屋市西区新福寺町 2-1-1

TEL(直通) 総務課 052-325-8091 発酵バイオ技術室 052-325-8092

分析加工技術室 052-325-8093 保蔵包装技術室 052-325-8094

FAX 052-532-5791

URL : <http://www.aichi-inst.jp/shokuhin/> E-mail: shokuhin@aichi-inst.jp

フルカラーの web 版センターニュースはこちらから→

